

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公開番号】特開2015-65218(P2015-65218A)

【公開日】平成27年4月9日(2015.4.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-023

【出願番号】特願2013-196922(P2013-196922)

【国際特許分類】

H 0 1 F 41/02 (2006.01)

H 0 1 F 1/057 (2006.01)

H 0 1 F 1/08 (2006.01)

B 2 2 F 3/24 (2006.01)

C 2 2 C 38/00 (2006.01)

C 2 2 C 28/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 F 41/02 G

H 0 1 F 1/04 H

H 0 1 F 1/08 A

B 2 2 F 3/24 K

B 2 2 F 3/24 1 0 2 Z

C 2 2 C 38/00 3 0 3 D

C 2 2 C 28/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月10日(2016.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

Nd及びPrのうちの少なくとも1種から成る軽希土類元素 R^L 、Fe及びBを含有するRFeB系磁石から成る焼結磁石又は熱間塑性加工磁石である基材の被付着面に対向してノズルを配置し、

該ノズルから、Dy、Tb及びHoのうちの少なくとも1種から成る重希土類元素 R^H を含有する R^H 含有粉末と有機溶剤を混合した混合物を吐出することにより、該混合物を前記被付着面に付着させ、

前記基材を前記混合物ごと加熱することを特徴とするRFeB系磁石の製造方法。

【請求項 2】

前記被付着面が非平面であることを特徴とする請求項 1 に記載のRFeB系磁石の製造方法。

【請求項 3】

前記 R^H 含有粉末の最大粒径が、前記ノズルの径の0.15以下であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のRFeB系磁石の製造方法。

【請求項 4】

前記混合物の粘度が30Pa・s以下であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のRFeB系磁石の製造方法。

【請求項 5】

前記被付着面上の位置によって異なる量で該被付着面に前記混合物を付着させることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の RFeB 系磁石の製造方法。

【請求項 6】

前記有機溶剤がシリコングリース又は流動パラフィンであることを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の RFeB 系磁石の製造方法。